



50th



三ツ境通信

(みつきょう つうしん)

令和3年度 校長室だより

第10号 R4. 3. 25

1年間のお礼 ～令和3年度～

4月5日の始業式、入学式から始まった令和3年度。あっという間だったと感じる人もいれば、長かったと思う人もいるかもしれません。時間の流れをどう感じるかは、人によって様々です。同じように、振り返った時に思い出すことも一人ひとり違って当たり前です。

この1年間も学校では新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みが続きました。児童生徒とともに学校の教育活動が予定通りに実施できた日は、一日の終わりにほっとする、という日々が続きました。子どもたちが安心して学べる毎日決して当たり前のことではなく、実はとてもありがたく素晴らしいことだと気づかされました。また私たち教職員は子どもたちの姿に励まされ、たくさんの勇気と力をもらい、どんな時でも、いつも前に進む原動力になっていました。

保護者の皆様、地域の皆様にはいつもあたたかい応援とともに大変多くのご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

3月18日、22日に卒業式、3月25日には修了式を行い、令和3年度がまもなく終わります。ここに皆さまへの感謝の気持ちをお伝えし、心よりお礼を申し上げます。



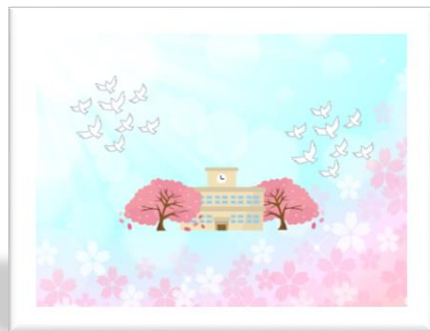
卒業おめでとう！

卒業式は今年も高A、高B、分教室、小中学部と分散した形で実施しました。夏に第一棟工事が完成したため、体育館で行いました。



どの学部の卒業生もとても立派でした。卒業証書を受け取り、一人ひとりが新たな旅立ちの時を心に刻み、式に参加する姿を見ていると、感動がこみ上げ胸がいっぱいになります。卒業は人生の節目の時だとあらためて感じます。秘めた決意を瞳の奥に輝かせた清々しい眼差しの卒業生、とびきりの笑顔で明るい未来への希望を見せてくれた卒業生、また手指の動きや呼吸、目の動きで今の気持ちを周りの人にたくさん伝えてくれた卒業生。

子どもたちは未来であり、可能性であり、共に生きる社会の大切な一員です。どうぞ健康に気をつけて、元気でお過ごしください。これからの活躍を願っています。



修了式 ～3月25日～

在校生はこの日、分散してリモート中継による修了式を行いました。学校の1年間のこと、修了式の「修了」の意味などについて次のような話をして今年度を締めくくりました。

「修了式」の「修了」は、1年間よく学び、学習を身に付けた、いろいろなことができるようになった、という意味です。目標に向かって、勉強や活動がんばった三ツ境養護学校の全員に、修了証をお渡しします。

それと新型コロナウイルスを広げないための取組みも続中、よく協力して努力していた皆さんに、お礼を言いたいと思います。本当にありがとう。

明日からは春休みです。この1年を振り返り、来年度の準備をしましょう。次の学年ではここをがんばろう、という目標を考え、夢や希望、なりたい自分に、少しずつ近づいていきましょう。

令和3年度は三ツ境養護学校50歳のお誕生日の年でした。これからの学校を創っていくのは、いまここにいる皆さんたちです。4月になると、新入生が入学してきますが、卒業した上級生たちが創ってきた三ツ境養護学校を受け継ぎ、ますます素敵な学校にしていきたいと思います。

新学期の始まりは4月5日火曜日です。1学年ずつ進級するのを楽しみにしててください。安全に気をつけて、元気で過ごしてくださいね。

それではこれで、校長先生からの話を終わります。



これからも元気で！ ～離任式～

今年度をもって三ツ境養護学校を退任・離任する職員の「離任式」を3月25日に行いました。集まった式は行いませんでしたが、分散してリモート中継し全校児童生徒で共有することができました。

これまで本当にお世話になりました。大好きな三ツ境養護学校と離れるのは寂しいですが、どこにいても三ツ境養護の思い出を胸に、これからもそれぞれの場所がんばっていきます。皆様のご多幸と健康をお祈りしています。ありがとうございました！

校長 片山 由美